

生産者と消費者をつなぐ“食品流通”

卸売市場ってどんなところ？

私たちの生活を支えている食品流通。その中心的役割を担っているのが「卸売市場」です。青果物の5割強、水産物の5割弱が卸売市場を経由して消費者のもとに届けられています。

卸売市場は、野菜や果物などの多種・大量な農林水産物を集荷し、公正に値決めを行い、安定して消費者に提供するという重要な機能を果たしています。

また、新鮮で安心・安全な県産農林水産物の集荷や取扱、環境問題への取組み等も行っており、流通という立場から産地を応援する役割も担っています。



Q 卸売市場では、どのようにして生鮮食料品の品質・鮮度を保っているの？

A 卸売市場には、大量の商品を冷やして保存するための大きな冷蔵庫や、温度が上がらないよう一時的に保存しておくための保冷库が設置されています。このような設備を活用しながら大量の商品を取引し、すみやかに出荷することで、鮮度を保っています。

多様化する食品流通

近年では、インターネット通販や宅配事業による購入など、卸売市場を経由せずに産地から直接販売される生鮮食料品も増加しています。

また、道の駅や農産物直売所、マルシェなどでの対面販売も人気が高まっており、こうしたニーズの多様化を受けて、食料品の新しい流通形態に注目が集まっています。



注目！ 農産物直売所に行ってみよう！

農産物直売所は福井県内各地に設置されており、旬の農林水産物や加工品等が販売されています。

令和5年4月には小浜市のJA福井県直売所「若狭ふれあい市場」が新築移転、リニューアルオープンしました。

売り場面積が従来の2倍に拡大し、新鮮な野菜・果物のほか、地場産物を使ったお弁当や総菜、お菓子なども豊富に取り揃えられています。



教えて！

ふくいの食育リターナ

卸売市場での新たな取組み ～市場deマルシェ～

小浜市総合卸売市場では、令和4年11月から余剰品や賞味期限が近い商品、返品となった商品など、「訳あり商品」の特別販売を行う「フードロス削減プロジェクト」に取り組んでいます。

また、令和5年4月からは毎月第4土曜日に、フードロス削減の一層の推進に加え、全国の旬の青果物や水産加工品等を提供するとともに、地元生産者がとれたての農産物を直接販売、さらには、市場内の関連店舗がお値打ち品、

割引サービスなどを提供する「市場deマルシェ」を開催しています。

「食のまち小浜」の発信拠点として、人や物が交流する賑わいの場を創出し、市民や観光客に開かれた市場を目指しています。



(小浜中央青果株式会社 山本 紀夫)



次の世代に伝えたい！伝統の味

福井百歳やさい



越前白茎ごぼう



(画像提供元) 坂井市農業振興課

【旬の時期】 4月～5月

【産地】 坂井市

【おすすめ調理法】 きんぴら、かき揚げ

根も葉も食べられる珍しいごぼう。主に白く長い茎を食べますが、食感が良く、クセがない味わいが特長です。根は普通のごぼうより短く柔らかく風味豊かです。